

コリント人への第二手紙の学びの質問

目次

コリント人への第二手紙	1章	1
コリント人への第二手紙	2章	3
コリント人への第二手紙	3章	5
コリント人への第二手紙	4章	6
コリント人への第二手紙	5章	7
コリント人への第二手紙	6章	8
コリント人への第二手紙	7章	9
コリント人への第二手紙	8章	10
コリント人への第二手紙	9章	11
コリント人への第二手紙	10章	11
コリント人への第二手紙	11章	12
コリント人への第二手紙	12章	13
コリント人への第二手紙	13章	14

コリント人への第二手紙 1章

挨拶 1:1-2

1. パウロは自分とテモテをどの様に表現していますか。(1)
2. この手紙は誰に宛てていますか。受取人はどう描写されていますか。(1) あなたは自分自身をどの様に思っていますか、自分の目から見てあなたの独自性はどの様なものですか。
3. 恵みと平安はどういう内容ですか。どうして恵みと平安は父なる神様と主イエス様との関係を通してしか見つからないのですか。(2) 恵みはあなたの日常生活の中にどのような意味を持っていますか。平安はどうですか。

慰めの神 1:3-11

4. 賛美の本質は何ですか。それは感謝とどう違いますか。(3) パウロは神様を賛美する理由として二つ挙げていますが、それらは何ですか。(エペソ1:3と1ペテロ1:23を参照に) あなたは今日何について神様を賛美しますか。
5. 神様の慈愛と憐みとはどの様なものですか。(3) 自分の体験談を語って下さい。(詩篇103:8-10; ヘブライ2:17; ルカ13:30-37を参照に)
6. 神様はキリスト者をどの様に慰めて下さいますか。(3-4) 神様の慰めはどのくらい広く大きいですか。(ヨハネ14:16-17, 26と1ヨハネ2:1を参照に)
7. 主から頂いた慰めは他の人々にどの様に影響しますか。(4, 6) どの様にすればあなたは魂のカウンセリングが出来る人になれますか。
8. キリスト者が受ける慰めはどれだけ大きなものでしょうか。(5, 7)
9. キリスト者にもやって来るかもしれないキリストの苦しみはどの様なものですか。その苦しみの中でどの様に耐え忍ぶことが出来ますか。

10. パウロはどうしてコリントの教会に対して確かな希望を抱いていましたか。(7)
11. 他のキリスト者の苦しみや困難についての体験談を聞くのは私たちや聞いている人たちにとってどうして役に立ちますか。(8)
12. 私たちが絶望的に感じる状況に陥ることを許される神様の目的は何ですか。(9-10)
13. 私たちの将来の希望の根拠はどこにありますか。(10)
14. キリスト者は互いの執り成しの祈りの支援をいつ必要としますか。(10-11)
15. 神様が与えて下さる祈りの答えの目的は何ですか。(11) 今日神様にどの様な恵みのために感謝しましたか。

パウロの旅行計画の変化 1:12-2:4

16. パウロのキリスト者としての歩みはどの様なものでしたか。パウロはそれについてよい良心で何と言ったのでしょうか。(12) 「聖さと神から来る誠実さ」とは何を意味しますか。私たちはどうですか。(1テサロニケ2:10を参照に)
17. パウロの歩みを導いて動かした力は何でしたか。(12) あなたの人生で何が最も大きな動機ですか。
18. 聖書を読むときにどんな間違いをおかす危険性がありますか。(13) 人間関係においても間違った解釈をどう避ければよいのですか。
19. パウロは他人との関係においても、何の日をいつも目の前にして歩みましたか。(14) 主の再臨の日に私たちの人間関係はどの様な役割を果たすのでしょうか。
20. パウロはどの様な予定を立てていましたか。パウロはどの様な目的でまたどの様な確信をもって再びコリントへ行く計画を立てたのでしょうか。(15-16)
21. パウロの旅は計画通りには行きませんでした。私たちの計画と神様の導きは互いにどんな関係にありますか。(17, 使徒16:6-10を参照に) 自分の体験談を語って下さい。
22. パウロは自分の真実性が疑われた時に何に訴えましたか。(18, 23) あなたは自分の立てた計画が必ずしも実現するかどうかは別として、その計画にあなたは本気であることをどの様に人々に確信させられますか。
23. パウロがコリント人へこの手紙を書いている間、ずっと主イエス様と交わりながら生きていることがどこから分かりますか。(19)
24. もうすでにキリストを通して実現されたものとこれから将来にも実現される神様の計画はどんなものですか。(19-20)
25. 神様の約束はどの様に実現しますか。それを誰が実現させますか。(20) あなたは今日神様のどの約束を頼りにしますか。それが実現する事がどうして分かりますか。
26. 「アーメン」という言葉はここではどんな意味があるのでしょうか。(20) それでは聖書の他の箇所ではどんな意味で使われていますか。(黙示録3:14を参照に)
27. キリスト者の救いの確信は何によりますか。(21-22; 1コリント1:8と1ペテロ5:10を参照に)
28. 神様からの油注ぎには何の意味を持っていますか。(21; 1ヨハネ2:27を参照に)
29. 神様はキリスト者にどの様な証印を押されましたか。それは何のためですか。(22; ロ-マ8:15-16; エペソ1:13-14; 4:30を参照に)
30. パウロはどうして計画を変更してコリント行きの旅を延期しましたか。(23) 私たちはどの様な理由で計画を変更しますか。事例を挙げて下さい。

31. 牧会者と魂のカウンセラーの使命はどの様なものですか。(24) どの様になる危険性がありますか。あなたは間違った霊的な支配に何か気づいたことがありますか。あったら例を挙げて下さい。それに対してどう反応すべきですか。

コリント人への第二手紙 2章

1. パウロはコリント人への第一手紙の中で目に見える罪を犯していたある教会員に対して教会戒規を適用する指示をしました。(1コリント5:3-5) 教会はその指示に従ったようですが、その過程はある部分においてはまだ途中までしか対処されていなかったようです。パウロはその教会に問題を解決するためにさらに時間を与え、訪問を延ばしました。どうしてその様にしましたか。(1) 私たちは人が悔い改めるためにその時間をどの様に与えるべきでしょうか。
2. 教会戒規の目的は何ですか。(2; 1コリ5:5を参照に) 今日私たちは罪の中に歩み悔い改めをしようとしめないキリスト者を見る時に、どうして私たちはその人を責めることが出来ないのでしょうか。どの様にすべきでしょうか。(マタイ18:15-18を参照に)
3. キリスト者の喜びはどうであるべきですか。(3) 互いの喜びを深める方法は何でしょうか。私たちの喜びの源は何ですか。
4. パウロはコリントのキリスト者に宛てた前の手紙を書いた時に、心の中の悩みや苦しみを正直に表現しました。その苦しみの理由は何だったでしょうか。(4) 人々と寄り添ってキリストの愛を伝えたいならば私たちは何を覚悟しなければなりませんか。

罪を犯した人に対する赦し 2:5-11

5. 教会戒規を適用する時にどの様な過程を通らなければならないですか。(5-8)
6. 教会戒規はどの様な心がまえで行われるべきですか。(5)
7. 教会戒規を受けて、悲しくなり、罪を認めて、悔い改めた人に対してどの様に対応すべきですか。(7-8)
8. 教会戒規はどうしてやらなければならないのですか。(9) それを怠ったらどんな結果になりますか。そのように実行する事は誰に対しての従順ですか。
9. 公の罪は多くの人に悲しと痛みをもたらせます。従って、それを公に責めるべきですし、その罪を犯した人は公に悔い改めるべきです。その後ですべての関係者が公に何をすべきですか。(10) 公の罪に対して個人的な懺悔と赦しの宣言で十分ですか。
10. 私たちは悔い改めた人を赦した事をその人自身と教会にどう報告したらよいですか。(10) 赦しは最終的には誰の御前で行われますか。
11. もし私たちが赦さない気持ちのままにいるなら、どうなりますか。(11) 悪魔のやり方はどの様なものか知っていますか。(マタイ16:23; マルコ4:15; ヨハネ8:44; 2コリ11:14; 2テサ2:9を参照に)

キリストによる勝利の行列 2:12-17

12. パウロにとってはトロアでよく始まった伝道よりももっと大切な事は何でしたか。(12) 私たちにとって働きか人々かどちらが大切ですか。

13. キリストによる勝利の行列はどの様なものですか。(14) 勝利者は誰ですか。勝利者の後で囚人として従う者は誰ですか。「いつも」と「至る所で」と言う表現は何を意味するのでしょうか。
14. 私たちがキリストの香である事はどういう意味でしょうか。(15) 私たちは一方の人々は救われ他方の人々は滅びに至る光景をどうして見失ってはいけません。
15. 私たちのキリストについての証しはどの様な影響を及ぼしますか。(15, 16)
16. パウロはキリストの香であるためにどの様な相応しさを意味したのでしょうか。
17. どの様な二つの方法で神様のみ言葉を伝える事が出来ますか。(17; ピリピ 1:15-18; 1テサ 2:3-5を参照に) お金の為に牧会をする人や大きな集会で自分に大きな献金を集めようとする超カリズマ的な説教者たちにはどのような姿勢で臨むべきですか。それとは別に、御言葉をとりつぐ人はその働きで生計を立てるべきであると教えている聖書と比べてどう考えるべきでしょうか。

コリント人への第二手紙 3章

新しい契約の栄光 3:1-18

1. 初代教会で推薦状は何に必要でしたか。(1) いろいろな国から来る説教者に対してどの様な対応をすべきですか。
2. パウロの推薦状は誰でしたか。(2) 人々は私たちの生き方や言葉から何を読み取れるのでしょうか。
3. キリストの推薦状はどこに書かれていますか。(3) どの様に書かれていますか。
4. パウロは4節でどの様な確信について書いていますか。(4-6) 神様はあなたを通して他人の救いの為に用いる事が出来る確信をどのくらい持っていますか。
5. あなたの考え方や決断力は何に基ずいていますか。(5)
6. パウロは6節から11節でどの二つの務めについて語っていますか。
7. パウロは旧約聖書の律法とそれを仲介したモーセをどうして死または滅びに至る裁きの務めに命名しましたか。(6-7)
8. 律法にはどの様な栄光がありますか。(7)
9. 新しい契約の務めにはどの様な効果がありますか。(6, 9)
10. 新しい契約の務めにはどの様な栄光がありますか。(8, 10-11) パウロはどのように両方において務めと言う言葉を使っていますか。
11. 律法と福音を比べたら、律法はどの様な結果になりますか。(10, 11) キリスト者は自分の生き方の中で律法と福音をどう区別すべきでしょうか。両方は必要ですか。互いにどの様な関係にあるべきですか。
12. 福音伝道師はどう振る舞うべきですか。(12) 大胆さの理由は何ですか。隠れキリスト者として生きることはどうして不可能ですか。
13. モーセはどのように顔におおいを掛けたのでしょうか。(13; 出エジプト 34:28-35を参照に)
14. パウロはモーセの顔のおおいを何に例えていますか。(14, 15) 私たちにもみ言葉を聞きながら頑なになる恐れがあるのでしょうか。
15. 人が正しく聖書のみ言葉を理解するために何が必要ですか。(15-16)
16. もし律法が人を奴隷にさせるなら、なぜ福音は自由を与えますか。(17)

17. 聖霊による自由はどんなものですか。(17 ; ヨハネ 8:31-32, 36 ; ガラテヤ 5:1, 13 を参照に)
18. どの様な鏡を通して今日主の御顔を見る事が出来ますか。(18 ; 1 コリ 13:12 を参照に) 聖書をどの様に読むべきですか。
19. キリストの栄光を見ると何が起こりますか。(18 ; 1 ヨハネ 3:2 ; 黙示録 22:4-5 を参照に)
20. 清め(聖化)はどの様なものですか。それはどの様に行われますか。(18) 聖化の目的は何ですか。

コリント人への第二手紙 4章

キリストの福音の光 4:1-6

1. 福音の僕はなぜ勇気を失う必要がありませんか。(1, 16) 何が私たちをがっかりさせますか。
2. 福音伝道の目指すところは何ですか。(2) 私たちはどの様な間違った” その場しのぎの方法” を使う危険性がありますか。
3. み言葉に留まることは何故大切ですか。(2)
4. 福音の光が人の心を照らす妨げになるのは何ですか。(3-4)
5. 不信仰で福音を拒否する人の運命は何ですか。(3)
6. どの様な光を福音は放っていますか。(4) キリストはどの様なお方ですか。
7. 福音の内容は何ですか。(5) 私たちはどうして福音のメッセージについてはよく語りますが、福音の主人公については語らないのでしょうか。
8. 私たちはどの様に福音の光に預かりますか。(6) あなたはどの様にキリストの輝かしい光を周りに放っていますか。

土の器の中に 4:7-15

9. 私たちの土の器の中にどの様な宝がありますか。(7)
10. 私たちはどうして自分が土の器であることを知る必要がありますか。(7 ; 12:7-10 を参照に)
11. パウロの弱さの中に神様の力がどの様に働きましたか。(8-12)
12. 「イエスの死をこの身に帯びる」事はどんな意味でしょうか。(10-11) それはどうして必要ですか。(ローマ 6:2-11 を参照に)
13. 私たちの死はどうして他の人の命になりえますか。(12) 何のことでしょうか。イエス様に従う人はどうして自分を否定して、自分の十字架を背負うべきでしょうか。
14. 聖霊が人に宿っている印は何ですか。(13 ; ローマ 10:9-15 を参照に)
15. キリスト者の歩みの目標は何でしょうか。(14, 17) あなたはイエス様の再臨と復活の体をどの様に待ち望んでいますか。将来のための準備の中で信仰にある兄弟姉妹たちの事をどの様に配慮しますか。
16. 福音伝道の最終目的は何ですか。(15 ; エペソ 1:6, 12, 14 を参照に)

栄光の希望 4:16-5:10

17. 内なる人はどの様に日々新たにされていますか。(16) それはどうして可能ですか。
18. 人生の苦難と重荷を何に比べるべきですか。(17) 苦難はどうして短くて軽いのですか。(マタイ 11:28-30 を参照に)
19. 私たちはどの様に心を目に見えないものに向けることができますか。(18; ヘブル 11:1-3, 13 を参照に)

コリント人への第二手紙 5章

1. パウロは体の死と復活の体についてどの様に描写していますか。(1-4)
2. 私たちは現在の体でこの地上における歩みはどの様なものですか。(2-4) あなたはどの様な苦難に会いましたか。
3. パウロは地上の体でいる間に裸である経験を何故したのでしょうか。(3)
4. パウロは肉体的な死を経験することなく、どうして生きたままでイエス様の再臨の時に一挙に引き上げられる事を望んだのでしょうか。(4; 1 コリ 15:51-54; 1 テサ 4:13-18 を参照に)
5. 肉体的な死の前にどうしてよく病気や痛みがありますか。それらにどの様にして耐えられるのでしょうか。(5-6; 1:22; エペソ 4:30 を参照に)
6. キリスト者の安心感の根拠は何ですか。(6, 8)
7. 天国から天国にするのは何ですか。(6, 8)
8. 信仰と見える事は互いにどんな関係にありますか。(7; ヨハネ 20:29; ヘブル 11:1 を参照に)
9. あなたはこの世での使命を続ける事ですか、それとも天国に主と共にいる事ですか、どちらを願っていますか。どうしてそうですか。(8; ペリピ 1:21-24 を参照に)
10. 天国への恋しさはこの世での生き方にどう影響すべきですか。(9; 2 ペテロ 3:10-12 を参照に)
11. キリストの裁きの座の前で何が起こりますか。(10; マタイ 25:31-46; ヨハネ 5:24-29; ロ-マ 14:10; 黙示録 22:12 を参照に) キリストの裁きの座は最後の裁きですか、それとも第一回目の復活、言い換えれば千年王国の前のキリスト者の復活の時の別の裁きですか。あなたにはどの様な裁きが下されるのでしょうか。

和解の務め 5:11-6:2

12. 伝道の目的は何ですか。その動機は何ですか。(11) あなたは人を信仰に導く事が出来ましたか。事例を挙げて下さい。
13. パウロはコリントのキリスト者にどの様な誇りの理由を示しましたか。(11-12) あなたの知っているキリスト者の中で模範になるような、また自慢できるような生き方をしている人が誰かいますか。あなた自身は模範になれますか。
14. 私たちが感情を爆発させる時に、どちらの方向を考慮すべきですか。(13) どの様に怒りと自己自制の両方を使って福音伝道を行うことができますか。どうして両方の状態が役に立ちますか。
15. パウロの怒りと自己自制の動機は何でしたか。(14)

16. キリストの死はそのすべてのキリスト者に何を意味しますか。(14-15 ; ロ-マ 5:15-19 ; 6:3-14 を参照に)
17. 「キリストの愛が私たちを取り囲んで（駆り立てて、制約して、無理矢理にさせて、要求して）いる」と書いてありますが、その愛はどうしてその様に働きますか。またキリストの愛は何をさせますか。(14 ; 1 コリ 9:16 を参照に)
18. (何ではなく) 誰があなたの人生の目的ですか。(15) あなたの人生は誰のものでしょうか。
19. あなたは周りの人々をどう見えていますか。(16) パウロはイエス様にその公の活動の時に会ったのでしょうか。パウロのイエス様に対する理解は何時又どの様になりましたか。(使徒 9:3-18 を参照に)
20. キリストの内にある新しく造られた者は何を指しますか。(17) 過ぎ去った古いのは何でしたか。(イザヤ 43:18-21 ; 黙示録 21:5 を参照に)
21. 新しい創造は誰から来ますか。(18)
22. 新しい創造に預かるには何が必要ですか。(18)
23. キリストが成就された和解には何が含まれていますか。(18-19, 21)
24. 和解の務めには何が含まれていますか。(18, 20)
25. 和解の言葉の内容は何ですか。(19, 20 ; ヨハネ 20:21-23)
26. 使節の使命は何ですか。(20) 使節の権威はどの様なものですか。
27. キリスト者が義と認められるのは何に基づきますか。義と義とされる(義と認められる)とはどういう意味ですか。(21)

コリント人への第二手紙 6章

1. 神様の恵みと義に預かるにはどう行われますか。(5:20 ; 6:1-2)
2. 神様の恵みはいつ無駄になりますか。(1)
3. 和解の言葉とともに救いを頂くには何時が最も相応しい時ですか。(2)
4. あなたの生涯で救いの日は何時でしたか。

使徒の困難 6:3-13

5. 主のための働きに於いて働き人がどの様に歩んでいるかが大切なのはどうしてですか。
(3)
6. 神様の僕にどの様な特性が求められますか。(4, 6, 7) どうしてですか。忍耐はどの様に成長しますか。
7. 神様の御国のための働きにどの様な困難にぶつかりますか。(5, 8, 9, 10) 私たちの困難はパウロの闘いに比べるとどの位ですか。
8. 福音はどの様な手段で前進して行きますか。(6, 7)
9. 悲しみの中でどの様に喜べますか。(10)
10. 福音伝道はどのくらいお金に頼っていますか。(10) 私たちの本当の財産は何ですか。

11. コリントのキリスト者の心の狭さはどんなものだったでしょうか。(11-13)私たちはどの様な心の広さを必要としますか。
12. 自分の体験について教会の中で隠すことなく語り合うのはどうして大切ですか。(11)

生きる神の神殿 6:14-7:1

13. キリスト者はどの様な間違った結びつきを捨てるべきですか。(14-15) このことは取引相手に当てはまりますか。結婚はどうですか。(ネヘミア 13:23-27 を参照に)
14. どうして偶像礼拝と妥協してはいけませんか。(15 ; 1 列王記 18:21 ; 1 コリ 10:20-21 を参照に) キリスト教以外の宗教の代表者と一緒にお祈りをするのは良い事ですか。
15. 神様の神殿は何ですか。神様はどこに住んでおられますか。(16, レビ記 26:11 ; エレミヤ 31:33 ; 1 コリ 6:19 ; 10:14 を参照に)
16. 偶像礼拝と妥協する恐れがあったらどんな措置を取らなければなりませんか。(17) 背教的キリスト者にどう対応すべきですか。
17. 背教的な関係を捨てることによってどの様な約束が与えられますか。(18) あなたのキリスト者としての独自性はどの様なものですか。

コリント人への第二手紙 7章

1. 神様の神殿であることがどの様にキリスト者と教会生活の中に現れるべきでしょうか。(1)
2. 清め(聖化)の本質は何ですか。(1 ; ヨハネ 15:3, 5, 8 を参照に)
3. 霊的な成長を可能にするのは何ですか。(1 ; 2 ペテロ 1:3-8 を参照に)
4. 清めは何時完全になりますか。(1)
5. キリスト者の生き方において神への恐れはどの様な役割を果たしていますか。(1 ; 5:11 とヘブル 12:28 を参照に) 神への恐れとはどの様なものですか。

コリント教会の悔い改め 7:2-16

6. パウロは「だれからも利をむさぼったことがない」と言えたのは何故ですか。(2 ; 使徒 20:33-35 ; 1 コリ 9:14-15, 18-19 を参照に)
7. 難しい問題に取り組む時でさえも、キリスト者同士の交わりがどのくらい深いものですか。(3) あなたは兄弟姉妹とどの様な交わりを持ちますか。
8. コリントの教会には様々な問題を抱えていたにも関わらず、パウロは何を根拠に彼らを信頼できたのでしょうか。(4, 16)
9. 苦難の中にあっても喜べるのは何故でしょうか。(4 ; ピリピ 2:17-18 ; 3:1 を参照に)
10. パウロは鉄人ではなく、生の人間で、外からの戦いと内なる恐れで悩んでいました。パウロは神様からどの様な慰めと励ましを受けましたか。(5-7 ; 使徒 18:9-11 を参照に) 主はあなたをどの様に励まされましたか。実例を挙げて下さい。

11. パウロはコリント教会で何を喜びましたか。(7) あなたは自分の教会にどれくらい強い執着心をもっていますか。あなたは自分の教会の霊的な状態にどれくらい関心を持っていますか。
12. どの様な悲しみは最終的に喜びに変わりますか。(8-10) その逆はどの様なものですか。
13. 悔い改めはどのように必要ですか。(10)
14. 神様の御心に添った悲しみと悔い改めは何をもたらせますか。(11-12)
15. ある罪を犯した人に対して教会戒規の実施を要求したパウロの前の手紙はどの様な結果をもたらしましたか。(12 ; 1 コリ 5:1-5)
16. 兄弟姉妹の喜びを一緒にもっと喜べるようにするにはどうすればよいでしょうか。(13, 16)
17. 教会での交わりはどのように大切ですか。(13) 兄弟姉妹をどの様に励ませばよいのでしょうか。
18. 私たちはなぜ真実を語らなければならないのですか。(14) 出席していない人についてどう語るべきですか。

コリント人への第二手紙 8章

エルサレムのキリスト者のための援助 8:1-15

1. パウロは何のために他の教会またはキリスト者を例に挙げますか。(1, 8)
2. 豊かに与える事の秘訣は何ですか。(2)キリスト者の喜びの源は何ですか。あなたは今日何を喜びますか。
3. キリスト者の経済的な捧げ物はどの様なものであるべきですか。(3-4) 今日の教会やキリスト教団の献金や支援金を集める時に何に訴えていますか。そのような訴えは私たちにどの様な影響を及ぼしますか。
4. 純粋な捧げ物はどの様なものですか。(5) 献金の対象は誰ですか。あなたは主に財布を捧げるか、それとも心を捧げますか。
5. 初めに熱心に捧げるだけではどうして不十分ですか。その他に何が必要ですか。(6. 11-12)
6. パウロは何を「恵みのわざ」と言いましたか。(6) どうして捧げる際に愛が最も大切ですか。(マルコ 12:42-44 ; 1 コリ 13:3 を参照に)
7. 教会にどの様な豊かな賜物が与えられていましたか。(7) それでも何故捧げる勧めが必要ですか。フィンランドでよく次の言い回しが使われます：「人間の救いに於いて最後に悔い改めるのは財布です」と。本当ですか。
8. 献金の訴えにはどの様な危険性が伴いますか。(8) 献金をした後で入れ過ぎたと後悔する気持ちは何を物語っていますか。
9. 私たちの豊かさは何処からですか。(9) 本当の豊かさは何ですか。
10. パウロはなぜ献金について単なるアドバイスだけに留まりましたか。(10)
11. 主の働きの為にどのくらい捧げるべきですか。(11-12)
12. 愛はどの様に平等に補うように求めていますか。(13-14)
13. お互いに経済的に支援し合う愛の狙いは何ですか。(15)

援助活動の実行者たち 8:16-24

14. 献金を集める責任を担っているキリスト者にはどのような性質が問われますか。(16-18)
15. 主の働きに熱心であるためには何が必要ですか。(16-17) その熱心はどう働きますか。
16. 福音伝道と経済的な援助活動はお互いにどのような関係にありますか。(18)
17. 支援金を集める人にはどのような権限を必要としますか。(19)
18. 教会において会計はどうして透明であるべきですか。(20-21) 会計監査の役割はどのようなものですか。
19. パウロはテトスと他の兄弟たちをどう描写していますか。(22-23) あなたが他の兄弟姉妹について意見を述べるように求められた時に、どの様に表現しますか。
20. 肯定的な評価（フィードバック）が私たちにより行いをさせるためにはどれだけ励みになりますか。

コリント人への第二手紙 9章

援助活動の実施 9:1-15

1. 兄弟姉妹たちの助け合いはどうして当然のことですか。(1)
2. 私たちの熱心さは他の愛の奉仕にもどんな励ましになりますか。(2)
3. 援助活動にどのような計画性が必要ですか。(3-4)
4. 働きがよく組織されていることにはどのような利点がありますか。(5)
5. 「豊かに蒔く者は、豊かに刈り取る」と6節に約束されますが、豊かに捧げる事によってどのような祝福に預かりますか。
6. 捧げ物はどうして心ではっきりと決めたとおりに行われるべきですか。どんな決定であるべきですか。どうしてですか。(7)
7. 主の働きにどれくらいの献金をするかは何に基づくべきですか。(8) 私たちは誰から頂いたものを捧げますか。他の人に捧げる事が出来るために、あなたにとって十分な金額はどれくらいでしょうか。
8. 神様は与えることにおいてどのようなお方ですか。そのよいものを誰に与えて下さいますか。(9)
9. 捧げる事と蒔く事と実を結ぶ事はどの様に神の義(9)とキリスト者の義(10)に関係していますか。義と認められる事と聖化はどのような関係にありますか。
10. 援助活動の最終目的は何ですか。(11-13, 15)
11. 援助活動はキリスト者同士の交わりを強化するためにまた福音伝道を広めるためにどのような意味を持っていますか。(13) 福音を伝えないような援助活動はどうしてキリスト教的なものとは言えないのでしょうか。
12. 援助活動はそれを受ける側にどのような影響を及ぼしますか。(14) 執り成しの祈りの役割は何ですか。
13. 神様からの言葉に表わせないほどの賜物は何ですか。(15) あなたは今日神様にどの賜物のために感謝することが出来ますか。

コリント人への第二手紙 10章

パウロの弁明 10:1-15

1. パウロはコリント教会のある教会員からどのような非難を受けましたか。(1-2, 7, 10) パウロはこれらの人たちに対する勧めは何に基づいていますか。
2. 肉に従う生き方(この世の人々のような生き方)はどのようなものですか。(2)パウロはどのように受けた非難に真面目に対応しましたか。
3. 霊的な生活は適切な武器を使っての戦いです。(4; エペソ6:11-18を参照に)
4. 霊的な武器を使っての戦いにはどのような効果がありますか。(4-5)
5. 私たちの考え方がキリストに従うことは何故大切でしょうか。(5) 本当の考える自由は何ですか。正統的な教理を守る事は考える自由に属しますか。
6. 教会戒規を上手く実行させる条件は何ですか。(6)教会戒規が機能しない理由は何ですか。
7. キリストの者(に属する又は支配)である確信(救いの確信)は何に基づきますか。(7) 私たちの信仰を疑ってるキリスト者に対してどの様に接したらよいでしょうか。
8. 教会の中では霊的な権威をもつ指導者が何故必要ですか。(8) その権威は何処から与えられますか。パウロはどのように自分の権威をコリント教会に強調しなければならなかったのでしょうか。
9. パウロのコリント教会へ宛てた手紙の目的は何でしたか。(9-11) 今現在の私たちにとってはどうですか。
10. パウロに敵対する人々は自分自身をどのような測りで測ったでしょうか。パウロは自分自信をどの様に測りましたか。(12-13) 私たちの自己評価は何に基づきますか。
11. パウロは自分の活動範囲をどこまでキリストの福音が宣べ伝えられたかに基づいて決めていました。、私たちの活動範囲はどのようなものですか。具体的にそれは何を意味していますか。(14)
12. 信仰の成長は私たちを信仰に導いた人との関係にどう影響しますか。(15; ヘブル13:7, 17を参照に) 正しい霊的な指導者はどんな人ですか。
13. パウロの目的は何でしたか。(16) 私たちは福音の働きで何を目指しますか。
14. キリスト者は何を誇るべきですか。(17)
15. 人の信頼性は何に依りますか。(18) 主は人をどの様に推薦しますか。人と教会の前であなたを最もよく推薦できる事は何でしょうか。

コリント人への第二手紙 11章

パウロと偽教師ら 11:1-15

1. パウロは「愚かな」話し方で偽使徒に対して攻撃した動機は何でしたか。(1-2)
2. 私たちはどうして清純さを追い求めて歩まなければならないのでしょうか。(2)
3. キリスト者が特に警戒しなければならない事は何でしょうか。(3-4; コロサ2:8; ヘブル13:9; 2ペテロ3:17を参照に)
4. どのような「寛容」を避けるべきですか。(4)

5. 偽使徒はパウロに対してどの様な非難を浴びせましたか。(6, 7-8, 11-12) その非難で偽使徒自身について何を物語っていますか。
6. パウロは後から現れて巡回する偽使徒に対して自分が使徒である立場を弁明するのは何故大切でしたか。(5)
7. パウロの話し方はどうでしたか。福音の奥義についてパウロはどのぐらいの知識を持っていましたか。(6; 1コリ 2:13; エペソ 3:4 を参照に)
8. パウロはなぜコリントで福音伝道で生計を立てる権利を使いませんでしたか。(7-12; 1コリ 9:6-15 を参照に) 偽使徒はどうだったのでしょうか。(20; 2ペテロ 2:1-3 を参照に) 私たちは何故貧欲の罪を避けるべきでしょうか。
9. 偽使徒はどのような人柄でしたか。(13-15) パウロもイエス様も彼らについて多くの警告をしなければならなかった理由は何だったのでしょうか。
10. 悪魔はどのように人に近づきますか。(14)
11. 本物の教師と偽教師の区別はどの様にして出来ますか。(15; マタイ 7:15-23; 1ヨハネ 4:1-3 を参照に) 現代の代表的な偽預言者は誰でしょうか。

パウロの苦難の道からの弁明 11:16-33

12. パウロは誇る事を愚かで主の御心に合わないと考えていたにも関わらず、どうして誇らなければならなかったのでしょうか。(16-19, 21) それはコリントのキリスト者の霊的な状態について何を語っていますか。パウロが彼らの位にまで下がった事については何を語っていますか。霊的な指導者において一番優れた性質は何でしょうか。
13. キリスト者はどうして偽教師にお金を捧げるように騙(ダマ)されやすいのでしょうか。(20)
14. 偽使徒は何を誇っていましたか。(22, 23; 使徒 22:3; ローマ 11:1; ピリピ 3:4-5 を参照に) 人の生まれは救いにおいて何か意味を持っていますか。他方で神様の選民に属する事にはどの様な意味を持っていますか。
15. パウロは福音伝道を進める中でどの様な苦しみに遭いましたか。(23-27) 私たちは福音を伝えるためにどのくらい苦難を受ける覚悟が来ていますか。海外伝道でどの様なリスクを背負わなければならないのでしょうか。どうしてですか。身の安全をどのくらい考えなければならないのでしょうか。
16. パウロにとって伝道の中で最も困難な事は何でしたか。(28-29) 御国の働きの中で私たちはどれくらいプライバシー(個人情報)の保護について考えなければならないのでしょうか。過労に耐えられる限度は何処に置くべきでしょうか。
17. 正しい誇りはどの様なものですか。(30; 12:10 を参照に)
18. 神様はパウロをダマスコの迫害の中からどの様に救って下さいましたか。(32-33) 殉教を避けて逃げるのは何故正しいですか。

コリント人への第二手紙 12章

パウロに示された事 12:1-10

1. パウロは役に立たないと分かりながらもどうしてやむ負えず誇らなければならなかったのですか。(1) 誰にとってそれは無益で、又誰にとってそれは有益でしたか。私たちにってはどうか。

2. イエス様はパウロを啓示を伝える使徒として選んで下さいました。パウロはそのメッセージをどのように主から頂いたのでしょうか。(1; 1 コリ 11:23; ガラテヤ 1:11-12; エペソ 3:3-5 を参照に)
3. パウロは2節から5節と7節で誰について語っていましたか。(2-5, 7) パウロは自分自身の事についてでしたが、どうして他人が語っているように話したのでしょうか。
4. コリント人への第二手紙はエペソから56年に送られましたから、パウロが言及している幻を見た時は42年で、その当時パウロはバルナバが彼をアンテオケアに招く前にタルソに住んでいました。第三の天にまで引き上げられた体験とはどのようなものでしたか。パウロはどうしてその明確な性質を説明する事が出来なかったのでしょうか。(2-3; 黙示録 1:10-11 を参照に)
5. 第三の天は何ですか。(2)
6. パウロはどうして天で聞いた言葉を話すことが禁じられていたのでしょうか。(3; 黙示録 10:4 を参照に)
7. パウロはどうして誇りたくはなかったのですか。(5-6)
8. 神様はどうしてサタンを使ってパウロを苦しめる許可を与えられたのでしょうか。(7) サタンの使いはどのような痛みを与ええましたか。主はあなたをどのような方法で謙遜なままでいられるようにされましたか。実例を挙げて下さい。
9. 主はどうしてパウロの祈りに彼の欲しいままに答えられなかったのでしょうか。(8-9)
10. 主の答えはどのようなものでしたか。(9) パウロにはどのような恵みが十分でしたか。私たちが願い通りに行かなかった時に、私たちにとって何が十分ですか。
11. 私たちの弱さの中に見える神様の力はどんなものですか。(9-10; 4:7 を参照に)
12. 私たちは弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじる事をどう学ぶことができますか。(10) それはあらゆる苦難の時に可能ですか。

パウロの教会に対する愛 12:11-21

13. パウロの誇りの理由は何だったのでしょうか。(11)
14. 本物の使徒は何によって知られていましたか。(12)
15. パウロのコリント教会に対する愛はどう現れましたか。(13)
16. パウロはコリント教会から何を期待していましたか。(14) 私たちは霊的な指導者に対してどのような愛を示していますか。
17. 親には子供に対してどのような義務がありますか。(14)
18. 愛はどの様に現れますか。(15) 愛はどうして相手からの愛も期待できますか。
19. 偽使徒たちはパウロとその同労者をどの様に責めましたか。(16-18) それに対する真実は何でしたか。
20. 他人と接している時でも、キリスト者は誰の御前で歩んでいますか。(19) 私たちはいつも何を目標にしていますか。
21. パウロはコリントへ三回目の訪問をすることになっていましたが、何を恐れていましたか。(20-21)
22. 教会はイエス様についての証が出来るように、どのような罪をいつも悔い改めなければなりませんか。(20) 私たちの教会の状態は今日どうでしょうか。
23. 罪を犯すよりもっと酷い事は何ですか。(21)

コリント人への第二手紙 13章

自分を吟味する事 13:1-10

1. パウロの三回目のコリントへの旅の目的は何でしたか。(1-2 ; 12:20-21)
2. キリストがパウロを通して私たちにも語って下さることは何によって分かりますか。(3-4)
3. キリストの弱さと強さは何処に現れえますか。(4 ; 1 コリ 1:21-25 ; ピリピ 2:6-11 ; 1 ペテロ 3:18 ; 黙示録 1:18 を参照に)
4. 私が本当にキリスト者であり、キリストは私の内に宿っておられる事がどの様に分かりますか。(5-6, 8) どの様な試練が与えられていますか。
5. 自分自身をどの様な測りで測るべきですか。(8)
6. パウロはコリントの教会に対してどの様な事を願い祈っていましたか。(7, 9)
7. この手紙の目的は何ですか。(10)
8. 主が授けて下さる権威をもってどの様な厳しい処置が行われますか。(10)

最後の挨拶と祝福 13:11-13

9. 完全なものにどの様になれますか。(11)
10. 神様のご臨在はどの様な教会の中に見えるようになりますか。(11)
11. 神様が平和の神であるとはどの様な意味でしょうか。(11 ; 使徒 10:36 ; ロ-マ 16:20 を参照に)
12. キリスト者はお互いにどう挨拶をかわすべきですか。(12) 挨拶の意義は何ですか。
13. 使徒の祝福はどの様に三位一体の神と主がキリスト者と共におられる事を反映していますか。(13)
14. 使徒の祝福はどうして三位一体の第二の各位(キリスト) から始まりますか。父なる神様をどの様に知ることが出来ますか。(13)
15. 使徒の祝福をアロンの祝福に比べて見て下さい。(13 と民数記 6:24-26) アロンの祝福の中で三位一体の各位の順番はどうなっていますか。
16. 恵みと愛と交わりとはどういう意味ですか。(13) 祝福はあなたにとってどの様な意味を持っていますか。